

研究課題名	術前心電図の多棘性 QRS 波は維持透析患者の脊椎外科手術術後予後予測因子として有用である：単機関後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	慢性腎疾患は心血管系合併症の危険因子として知られており、特に維持透析患者は心血管系合併症が生命予後に関わる事が知られています。これまでに心電図検査で解析される多棘性 QRS 波は心血管合併症の予測因子として報告されていますが、維持透析患者の脊椎外科手術術後予後との関連を調査した報告はありません。本研究では手術前に行われる心電図検査で多棘性 QRS 波の有無を確認し、周術期合併症の予測因子として有用であるかを検討します。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2023年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2008年4月1日～2020年12月31日の期間に <u>大阪市立大学医学部附属病院</u> （現 <u>大阪公立大学医学部附属病院</u> ）において、脊椎外科手術を受けた維持透析中の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患、心電図検査、術後1年以内の合併症】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院麻酔科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院麻酔科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科麻酔科学 研究責任者 辻川翔吾
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 麻酔科学 （担当者氏名）辻川 翔吾 電話番号：(06) 6645-2186 メールアドレス：shogo.tsujikawa@gmail.com